



# 華となれ

宮城県仙台二華中学校  
 令和6年度学校だより 第2号  
 【発行日】 令和6年5月14日  
 【連絡先】 022-296-8101  
 【文責】 副校長 武田 誠

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

## 120周年記念 春季体育大会

真剣な表情と笑顔にあふれた全校行事、クラスの絆が深まる



○中3生：総合1位 3A

○中2生：総合1位 2B

○中1生：総合1位 1B

○思い思いのパフォーマンスを競う

部活動対抗リレー：1位 自然科学部



4月23日(火)と30日(火)の2日間に渡って開催された今年度の体育大会は、本校創立「120周年記念」を冠する一大行事でした。実行委員の企画により、中学生・高校生が縦割りで行う競技を新たに採用し、花・鳥・風・月の4つに分かれた各団の応援合戦、応援歌の合唱など、新たなことにチャレンジした記念の行事となりました。この取組で生徒たちが見せた「進取創造」の姿こそ、本校の校訓を体現したものであると言えます。





## 【3年生オンライン交流】 ～ シンガポールWSSとの交流開始 ～

4月26日（金）の放課後、シンガポールのWestwood Secondary School（WSS）と本校3年生のオンラインミーティングを実施しました。WSSの生徒は5月29日（水）に本校を訪問する予定であり、その事前活動として今回の交流が行われました。

昨年は個別にオンライン対話を行いました。今年はいずれの学校が互いの学校生活の様子を紹介する動画を作成し、より具体的な学校紹介を行いました。各校の学校紹介動画も見事でしたが、質問コーナーになると、本校生徒から積極的に相手校へ多くの質問が寄せられ、相手をより知ろうと学び合おうとする姿勢をうれしく思いました。今後もWSSへのおもてなしを準備していく予定です。

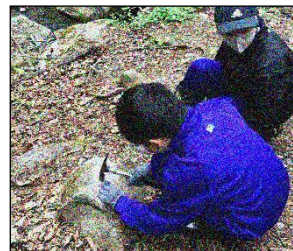


## 【1年生 SR春巡検】 ～ 泉ヶ岳の新緑に学ぶ ～

1年生が5月1日（水）に、泉ヶ岳へSR（サイエンティフィック・リサーチ）春巡検に行ってきました。オーエンス泉岳に到着後、担当の教員（当日は理科担当の高校の先生も講師として同行）から指示を受け、初めての探究活動をスタートしました。

午前中は、年間を通してグループで観察していく「我々の木」を1本選定し、樹高や胸高直径の計測、地表面の観察などを通してデータ収集を行いました。午後は活動場所を河原に移動し、安山岩と玄武岩を採取して観察を行いました。

SRの活動は、自然科学的な手法によって地球環境を探究しながら、課題解決能力と論理的思考力を育む活動です。今後、秋巡検では我々の木周辺の秋のデータ収集と化石採集を、冬巡検では冬のデータ収集とスノーシューを体験しながらの自然観察を行う予定です。



## 【2年生 北上川FW講演会】 ～ FW（フィールドワーク）を深めよう ～

2年生は5月27日（月）に北上川FWを予定しています。実地での学習を深めるための事前学習として、5月9日（木）に東北工業大学工学部環境応用化学科教授の山田一裕先生、10日（金）は元東北大学大学院農学研究科准教授の伊藤絹子先生をお招きし、講義をしていただきました。

山田先生は「～みやぎの音風景～ 北上川河口のヨシ原を知ろう」と題し、日本の水環境が抱える富栄養化問題や水質問題を切り口に、ヨシ原がもつ役割について教えてくださいました。また、ヨシのもつ汚水浄化能力や世界各地で見られるヨシ葺きの家、飼料や食品、エネルギー源としての活用など、様々なヨシの価値を知り、生徒たちは目を輝かせて講話に聞き入っていました。

伊藤先生は「わたしたちの生命を支えている生態系 ～汽水域生態系を例として～」と題し、「私たち人間も自然のしくみの一構成員に過ぎない。北上川FWは考えるための絶好の機会。一人一人がそれぞれの立場で大切にすべきことは何か、じっくり考えてみてほしい。」とお話いただきました。今日の学びを胸に、月末に北上川FWへ向かいます。

